

『多文化共生』という視点で大学生が地域活性化に取り組む活動

地域政策学部 地域政策学科 地域経済経営コース
 地域政策学部 地域政策学科 地域づくりコース
 国際関係学部 国際関係学科 国際コミュニケーションコース
 基礎教養部講師

3回生 澤崎 彪我
 2回生 甲斐 颯真
 3回生 藤井 美帆
 田中 典枝

概要

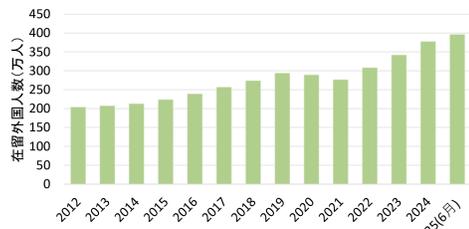
- 島根県立大学浜田キャンパスの授業の一つである「教養ラボ」の田中ラボでは、島根県の魅力を海外に発信することを目的に、6つの班に分かれ学生自身が活動を考え、実行しています。
- 現在、少子高齢化が進みこれまで以上に外国人労働者の受け入れが増えるなど、海外に触れ、異文化理解への積極的な姿勢が求められることが多くなりました。そこで私たちイベント班は、子どもたちにイベントを通して異文化に触れ、遊びながら楽しく海外の文化を学んでもらう機会を提供したいと思い、「世界の遊びラボ」や「国際スポーツフェスティバル」を企画することにしました。

1. 活動の背景

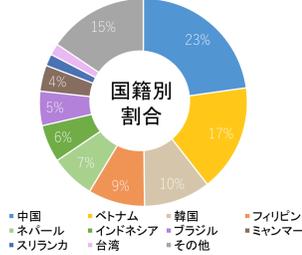
●多文化共生社会の取り組み

①在留外国人数

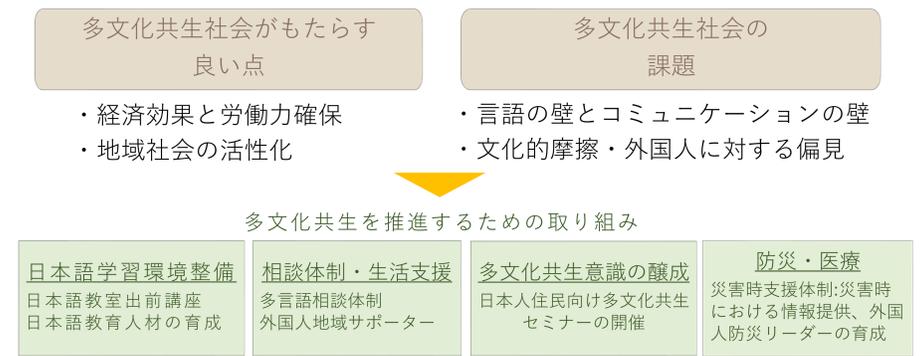
395万6,619人（前年未比18万7,642人、5.0%増）→過去最高（令和7年6月末）



出所：出入国在留管理庁(2025a)の「[令和7年6月末]公表資料」より筆者作成
 令和7年6月末現在における在留外国人数について | 出入国在留管理庁

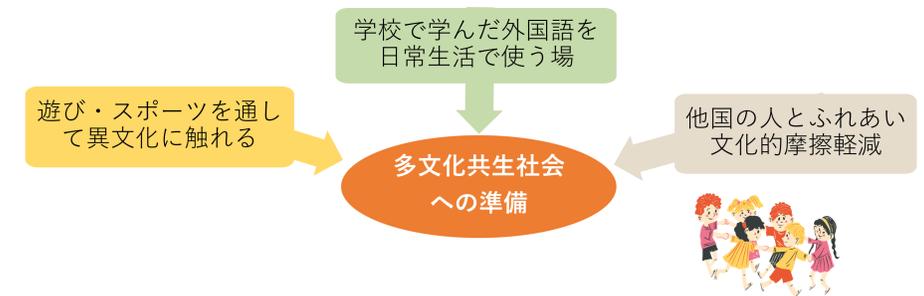


③多文化共生社会の取り組みの現状

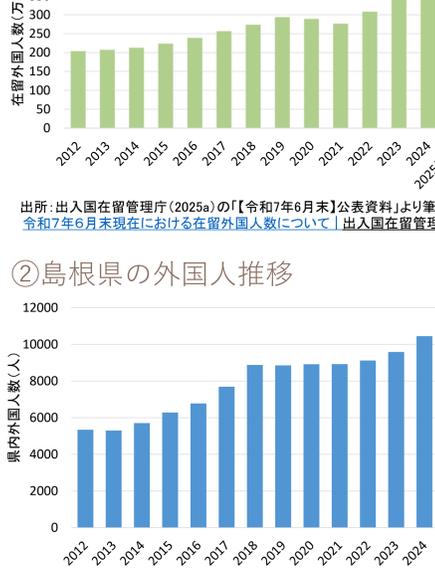


④多文化共生社会へ取り組む意義

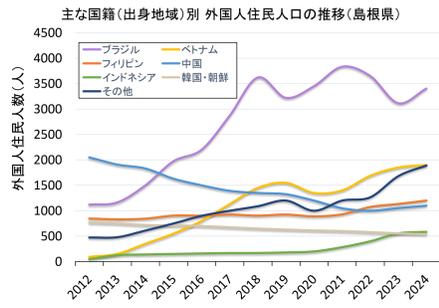
これからの未来を担う児童と多文化共生意識醸成のきっかけ作り



②島根県の外国人推移



島根県:多文化共生の推進(トップ/くらし/国際交流/パスポート/国際交流/しまねの国際化/多文化共生)
<https://www.pref.shimane.lg.jp/life/international/kouryu/kokusai/tabunka/sousei-tabunka.html>



●本研究活動の目的

小中学生が世界の遊び・スポーツを通して異文化に触れること 小中学生・浜田市の国際交流員さん・大学生の交流の場を作ること

2. 実施内容

●実施イベント

- ①春学期 「世界の遊びラボ 中国編」
- ②秋学期 「世界の遊びラボ オーストラリア編」
- ③秋学期 「国際スポーツフェスティバル」

●連携先の紹介

①浜田市国際交流員



ニコラス・サントソさん 庄 哲さん

②モルック浜田



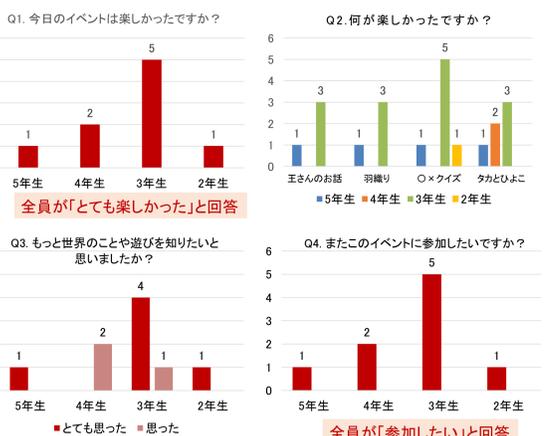
●スケジュール

4月	イベント企画	10月	イベントの企画と準備
5月	準備・国際交流員さんとの協議	11月	「世界の遊びラボ オーストラリア編」の実施
6月	・イベント最終調整 ・「世界の遊びラボ 中国編」の実施	12月	・イベントの振り返り ・スポーツイベントの企画と準備
7月	・活動報告書作成 ・秋学期の計画	1月	・「国際スポーツフェスティバル」実施 ・イベントの振り返り

3. 活動結果

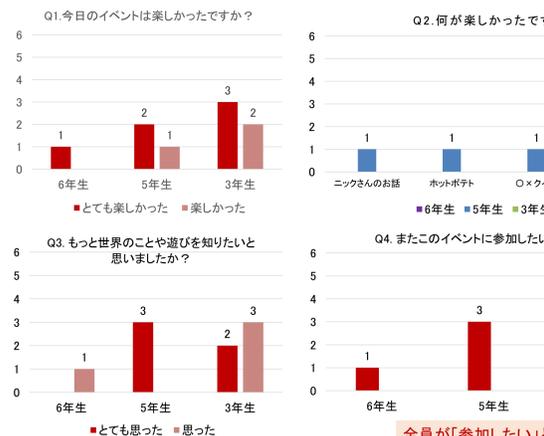
①春学期 「世界の遊びラボ 中国編」

回答人数：5年生1人 4年生2人 3年生5人 2年生1人



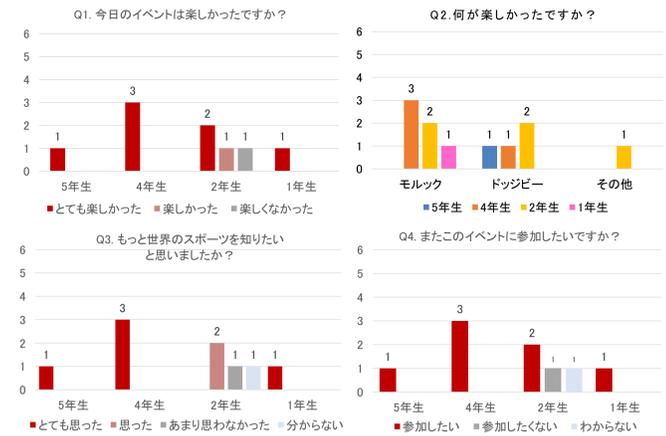
②秋学期 「世界の遊びラボ オーストラリア編」

回答人数：6年生1人 5年生3人 3年生5人



③秋学期 「国際スポーツフェスティバル」

回答人数：5年生1人 4年生3人 2年生4人 1年生1人



●成果

- 子どもたちが積極的に発言してくれたので、ゲーム等が盛り上がった。
- 初対面にも関わらず、子供たちと大学生がとても仲良くしているところが多かった。
- ほとんどの小学生が、今回のイベントが楽しかった、また参加したいと答えた。
- 保護者アンケートで貴重な意見を集めることができた。楽しかった、また参加したいという声が多かった。
- 小学生・大学生・国際交流員さんが交流し、小学生が異文化に触れあう機会を作ることができた。
- リピートしてくれる小学生もおり、興味を持ってきている子供にはイベントの効果があった。
- 言語の障壁が低い国際交流の場を提供できた。
- 大学生、地域の団体、行政が連携したイベントを開催することができた。